

吉原東中学校の適正化に関する保護者説明会（令和3年12月15日）要旨

会場：吉原第三中学校体育館

事務局より

- ・広報紙による具体的支援策の提案
- ・「令和6年4月編入」及び「編入統合を理由とする指定校変更はできない」の説明

以下、質疑応答（【凡例】○は意見、質問 →は教育委員会の返答）

○保護者の中には、午後6時30分や午後7時00分からの説明会開催となると、参加できない方もいるのではないかと。

→保護者の方には、7日の入学説明会の折に時間をいただき、説明を行っております。土曜日や日曜日の開催も検討したが、平日の夜間の方が出席していただけるのではないかと考え、このような開催時間としております。

○児童生徒にアンケートを実施したと聞いた。反対の意見が多かったと思うが、22日の地区説明会でアンケート結果を、何らかの形で公表してほしい。

→子どもたちに実施したアンケートには、公表するかしないかについて記載していない。そのため、現段階で詳細には公表できないが、意見の傾向や概要については、お伝えしていきます。

○今回の提案は、すでに決定事項のように読み取れる。過去にあったようなことを、また起こすことのないよう、丁寧な説明と納得のいく解決策をぜひ提示していただきたい。まずは信頼関係の醸成からだと思う。

→地域の皆さんに納得していただけるよう、このような説明会や会合を複数回実施しております。保護者の方へも、場所や機会を変えて説明を行ってきました。その中で、様々な不安や心配なことを伺い、それに対する支援策が、広報紙に記載されているものです。支援策に不足があれば、意見を寄せてください。

○先日、ヤングケアラーの特集番組を見た。最も遠い赤湊川の近くから吉原三中へ通うことになれば、時間をどれだけ要するか、その通学時間のため、自分の将来の自分自身を磨き上げる時間を、どれだけ奪われてしまうか、そうしたことをぜひ想像してほしい。困っているという声を挙げられない子どももいるのではないかと。

→教育委員会が直接、子どもたちの声を直接拾うことは難しいが、困っている子どもたちがいれば支援していきたいです。子どもの声が通りやすい環境を目指し、学校と連携を密にしていきたいと思えます。町内や地区で、困っている子どもの話を見聞きしたら、ぜひ市に連絡してください。

○学校があるからと思って住居を決めた方もいると思う。学校がなくなってしまった場合、賠償請求されるといったことがないようにしてほしい。

- 約 10 年前に行政懇談会で、統合の話が出たことがある。しかし、地元で考えてほしいと言われた。今回、教育委員会が突然やってきて、「2 年後、3 年後に統合」と言い出した。予見できたことではないか。
- そのころには、適正規模・適正配置に関する方針が策定されておりました。児童生徒数の減少に対する素早い対応ができずに申し訳ありません。
- 静岡市では、清水両河内小中一貫校を 2022 年度 4 月に開校する予定であったが、校舎完成が 8 月にずれ込むことになり、市長が学校に来て謝罪したと聞いた。「行政の責任者は自分であるからお詫びに来た」とのことであった。今回の学校統合も反対意見は多いので、然るべき方が「お願いします」という言葉があると助力になるのではないか。
- 話に上がった清水区の学校は静岡市の山間部の学校である。いずれの学校も児童生徒数が少ないが、学校が地区のコミュニティの核になっているので、期間を十分に確保して、検討を続けてきたことと思います。コロナ禍からか、当初予定していたスケジュールが大きく変わってしまったということで、市長がお詫びすることになったのではないかと推察します。そうした事態にならないよう努力していきます。
- 吉原東中学校に駐輪場を設けて、そこから先は徒歩で吉原三中へ通学するという案になっているが、逆に負担が大きい。もし自転車通学の許可を出すのであれば、できる限り吉原三中の近くまで、乗車を認めてもらいたい。
- 当初は吉原三中までの自転車通学を考えていましたが、下校の際にスピードが出すぎて危険ではないかという意見を多数いただいたことから、「吉原東中学校付近に駐輪場を設ける」としました。こうした提案も確定ではありません。
- 富士市でも外国籍の児童生徒が増えていると聞く。日本語を覚えるだけでも大変なのに、さらに編入統合するとすると、その児童生徒にとっては二重の負担になる。外国籍の生徒には十分なケアをしてほしい。
- 外国籍の児童生徒に対し、各学校では、外国籍の児童生徒へ、特別の教育課程を組んで対応しております。さらに、吉原小学校と富士見台小学校の 2 校に国際教室を設置し、外国籍の児童生徒が日本語を学べる体制をとっています。また、市長部局においても国際交流ラウンジ (FILS) で外国籍の方への支援をしています。編入統合は、どんな子どもにも負担がかかることなので、できる限りの支援策を検討していきます。
- 給食のハラルなどにも対応するのか。
- 個別の要件については、学校対応になります。
- 子どもの悩みは下手に相談すると、余計に追い込んでしまうこともある。そうしたことがないようにお願いしたい。

○これまでの説明会で、ジャージなどの学用品、自転車通学、スクールバスなど様々な意見があったが、検討しますという回答しかなかった。今まで質問されたことに対する総まとめを、22日にしてほしい。

→今回の説明会は、2つの大きな変更点について説明することが目的でした。実際に学校が統合されるとすれば2年後であるので、細部については、時間をかけてじっくり検討していきます。ご指摘にあったジャージや駐輪場といった案件は、予算が絡み、議会に承諾を得なければならないことであるため、現段階では確約できません。22日の地区説明会でも、同様の提案変更について説明し理解を求めていく予定です。

○回答で「検討します」というばかりで、回答になっているとは思えない。本当に支援策を実行してくれるのか。

→現在、検討している支援策が広報紙に記載されているものです。自転車通学できるのはどの地区かを示さないと納得できないという意見もありますが、具体的な案は学校側と詰めなければなりません。こうした支援策の詳細は、学校統合の時期が決定してからになります。このように広報紙に載せるということは、実現に向けて努力するという、教育委員会の決意と思ってください。

○通学方法については、吉原三中が決めるということか。

→教育委員会と調整して決定していくということです。

○「市が勝手に学校統合するのであれば、制服などは市が負担すべきだ」という意見があった。他の地区とのバランスもあると思う。特別なことから特別待遇がいいのかは分からない。

→ジャージや制服が違ってても安心して学校に通える状況、環境を作っていかなければならないと考えます。だが、そうした不安があることは間違いないので、前向きに検討させていただきたい。

○電動アシスト付自転車をレンタルしてはどうかといった案もあった。無償でなくても構わない。簡単ではないと思うが。

→駐輪場の場所や安全性も含めて検討します。

○自転車通学を認めるに当たっては、交通ルールを学校で徹底して指導してほしい。

○学校が統合すれば、メリットも当然あると思う。在校生が少ないと専門教科の先生を置くことができず、大変だという話を聞いたことがある。統合となれば、必要となる教員数が確保できるので、安心感がある。そのようなメリットがあれば教えてほしい。

→学校の教員の配置数は、クラス数によることが法律で定められています。そのため、県費職員で足りない場合には、市費で会計年度任用職員として教員を雇用するか、在籍する教員が免許外の教科も指導するかしきありません。どの教科であっても、教員の確保は大変困難ですし、免許外の教科を指導することは、教員にとって非常に負担が大きいものです。どちらの方法にしても、何年も継続して同じ組織体制を維持できません。また、部活動においても、生徒数が多ければ教員数が増え

るので、複数の部活動から生徒がやりたいものを選択できるうえに、顧問も2人体制で指導に当たることができます。もちろん、社会性を身に付けるという点においては、いろいろな子どもたちがいる環境のほうがいいことは言うまでもありません。今回の提案は、子どもたちが将来よりよく生きるために、学校での成長や学びはどうしたらよいかを検討したうえでの提案です。

○配布された児童生徒数の予測を見ると、今後しばらくは完全な右肩下がりではない。現状のままでもいいのではないかという考えは出てこないか。

→苦しい状況が続いているのが現状です。また、配布した児童生徒数は現在の数で、私立中学へ進学する方も当然含まれています。

○吉原三中も生徒数が減少してきて、合同で行っている部活動もあると聞いた。

→現在、野球部が吉原東中と吉原三中で合同チームを組んでいます。

○令和3年度になって、吉原三中も部活動数が減ったと聞いた。学校が統合されれば、生徒数も増えるので、部活動も活性化すると思う。通学距離の問題はあるが、なんとかうまく話がまとまってくれればいい。

○吉原三中まで自転車通学ができればいい。吉原東中までだと、そこからさらに15~20分ほどかかることになる。ぜひもう少し工夫してもらいたい。

→自転車通学については、学校と教育委員会が相談しながら決めていきます。安全性を優先し、吉原三中までの自転車通学を認めることも含めて、検討していきます。

○自転車通学を認めている学校の状況はどうか。

→市内では、大淵中と元吉原中で、自転車通学を許可している区域があります。学校までの距離や指定町内会など決定すべきことはあるが、子どもたちが本当に自転車通学を希望するかどうかは判断材料になります。

○岳鉄の比奈駅を使うなど、柔軟に考えてほしい。

→比奈駅からは、1 Km 以上ありますので、現実的ではないと思われます。

○吉原東中学校からスクールバスを出すというのはどうか。

→スクールバスについても検討をするが、発車時刻が決まってしまうため、中学生にとって使い勝手が良いかどうかはわかりません。

○これしかできないという対応ではなく、いろんなバリエーションを持たせることが大事なのではないかと思う。窓口を広くとって話し合いをしてほしい。